

すねこたんぽこ



表紙 North40-40

vol. 109 November 2025

contents 目次

- 05 YOKOGAO 拝見
- 05 野菜歳時記
- 06 おせち特集 2026
- 09 食育エッセイ
- 10 ランチ情報
- 13 ショッピング情報
- 14 はちのへ TAKEOUT Gourmet
- 17 ビューティー情報
- 18 タウンウォッチ
- 20 忘新年会情報
- 32 プレゼント & クーポン

ホームページ・インスタ公開中！

パソコン
<http://www.webwell.jp>
ケイタイ
<http://www.webwell.jp/mobile/>
Instagram
@hachinohe.well



昔々、ある所にじ様とば様が居だつた。子どものほしいば様は毎晩「観音様、どうか子どもを授けて下さい」と拝んでいだず。そしたら何と夢の中で観音様が「ばあさんや、すね（脛）につばをつけてこすりなさい。そうすればそこから可愛い赤ん坊が生まれますよ」と云った。さあ、ば様は毎晩すねにつばをつけて拝んだ。そして、二十一日目の朝、なんと男の赤ん坊が生まれだす。じ様とば様は大喜び、すねから生まれたから「すねこたんぽこ」と名前をつけて可愛がつた。

このすねこたんぽこは、親の手を借りずにぐんぐん大人になり、村一番の馬の使い手になった。けれども体だけは小さいままだった。

ある日すねこたんぽこは「じ様、ば様、嫁さん探しの旅に行ってください。こうせんを一袋用意して下さい」と云った。ば様がこうせんを一袋用意すると、すねこたんぽこは早速馬に乗って嫁探しの旅に出た。

町に出たすねこたんぽこは、ある日大きな家の戸を叩いた。「ごめんください。今晩泊めて下さい」と。すると家の中から可愛い娘が出てきた。ところが声はするけど馬一頭いるだけで人影が見えぬうろろうしている。すねこたんぽこは馬の耳から娘さんの肩にピョンと飛び降りた。娘さんは「まあ可愛い」と喜んだ。そして親に聞いたら「泊めてやれ」と云ったので、すねこたんぽこはその晩この家に泊まることになった。

さて、その晩すねこたんぽこは自分の床を抜け出して、ぐっすり眠っている娘さんの室へ行き、持って来たこうせん袋から黄色いこうせんの粉を取り出し、娘さんの口元へべたべたと塗り付けた。

さて次の朝、すねこたんぽこは大きな声で「えーん、えーん」と泣いた。何事が起きたか？と家の人が集まった。娘さんも起きて来た。そこですねこたんぽこは「俺の大事なこうせんを娘さんが皆食ってしまった」と大声で云った。皆一斉に娘さん

んを見たら、なんと娘さんの口の周りに黄色いこうせんがいつぱい付いていただた。さあ大変、娘さんも鏡を見てびっくり。「恥かしい」と云って逃げてしまった。さあ親達も困ってしまつて「家にあるこうせんやるすけ、許してけろ」と、すねこたんぽこに云つても「ば様が作ってくれたこうせんをねばわがね」とさらに大声で泣いた。とうとう父親が「せば、どうすればいいのだ？」と聞いた。

そしたらすねこたんぽこは「こうせんの代わりに娘さんを嫁に下さい」と云った。「なんだ、そんな馬鹿な」と親達は怒った。でも、「嫁にくれねば盗み食いたことを村中、町中に云いふらす」と泣き続けた。とうとう親達も「夜中に人の物を盗み食いた娘」と云いふらされると、「もう誰からも嫁のもらいがこねべ」と、仕方なく娘をすねこたんぽこに嫁にけることにした。

さて、すねこたんぽこはお嫁さんを馬に乗せ、自分は馬のしっぽに握まつてじ様とば様のいる村へ向かつた。



挿絵/久慈 彩華

途中、馬がなんに驚いたのかしっぽを強く振つた。さあ大変、娘さんも鏡を見てびっくり。さあ大変、娘さんも鏡を見てびっくり。「恥かしい」と云って逃げてしまった。さあ親達も困ってしまつて「家にあるこうせんやるすけ、許してけろ」と、すねこたんぽこに云つても「ば様が作ってくれたこうせんをねばわがね」とさらに大声で泣いた。とうとう父親が「せば、どうすればいいのだ？」と聞いた。

そしたらすねこたんぽこは「こうせんの代わりに娘さんを嫁に下さい」と云った。「なんだ、そんな馬鹿な」と親達は怒った。でも、「嫁にくれねば盗み食いたことを村中、町中に云いふらす」と泣き続けた。とうとう親達も「夜中に人の物を盗み食いた娘」と云いふらされると、「もう誰からも嫁のもらいがこねべ」と、仕方なく娘をすねこたんぽこに嫁にけることにした。

さて、すねこたんぽこはお嫁さんを馬に乗せ、自分は馬のしっぽに握まつてじ様とば様のいる村へ向かつた。

※こうせん 麦こがし
(麦粉を煎ったもの)

どつとはれ